

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成29年5月号 No.120

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

平成29年度模範従業員・優良自動車運転者表彰式開催

平成29年4月13日（木）午前10時より名古屋木材会館において、木材業界に永年勤務され、他の模範となる名古屋木材組合員各社従業員の方々に対する表彰式が開催された。

尾之内裕三文化厚生委員長の司会進行のもと、西垣洋一組合長の主催者挨拶の後、名古屋市長表彰、名古屋木材組合長表彰が行われ、賞状及び記念品が手渡された。

その後、市長（代理 市民経済局 長谷川実穂労働企画係長）からの祝辞が述べられ、受賞者を代表して狩野憲昭氏（株山西）が謝辞を述べた。

受賞者は次のとおりです。（敬称略）

市長賞(勤続年数30年以上)

- ・松下 光成 名古屋木材(株)
- ・伊藤 法一 名古屋木材(株)
- ・木村 郁夫 (株)山西
- ・狩野 憲昭 (株)山西

組合長賞(勤続年数15年以上)

- ・和田 圭司 上地木材(株)
- ・西 毅二 名古屋木材(株)
- ・稲山 翔子 名古屋木材(株)
- ・高島 健寿 材惣木材(株)
- ・前田 雅之 (株)フルハシEPO
- ・南島 賢治 (株)フルハシEPO
- ・藤原 久義 (株)フルハシEPO
- ・土田 純一 (株)サンコー
- ・佐々木 智水 (株)サンコー
- ・柴田 祥江 (株)サンコー
- ・栗屋 幸成 (株)サンコー
- ・小竹 聡 (株)山西
- ・西 裕矢 (株)山西
- ・久郷 均 (株)山西
- ・沖野 清彦 (株)山西
- ・為井 秋雄 (株)山西
- ・梶野 俊宏 (株)山西
- ・丹羽 勇貴 (株)山西

優良自動車運転者(10年以上無事故無違反)

該当者なし



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

◆ 合縁木縁 ◆

←←←←←
木場すずめ
←←←←←

「名古屋城天守閣」

名古屋城以外の観光地を教えてください。

ここ数年何度か頭を悩ませた質問ですが、そう聞かれて困った経験がある人は多いと思います。

また、先日ネット上で「尾張名古屋は城でもつ」の解釈を巡ってプラス派とマイナス派に二分されているという記事をみました。

1つ目は、名古屋は素晴らしい城の元で繁栄をしている、というプラス派。

2つ目は、名古屋には城以外なにも観るところがない というマイナス派。

元々は「伊勢音頭」の中にある「伊勢は津でもつ 津は伊勢でもつ 尾張名古屋は城でもつ」という一節が由来とされており「尾張の名古屋には新しく素晴らしい城ができた為、今後さらに繁栄するだろう」という意味のようですが、これまで「魅力の無い街」で上位ランクインされるなど観光地としての不評がマイナス派の揶揄に繋がっているものだと思います。

そんな観光地供給不足の名古屋ですが、リニア開通予定や名古屋駅前の再開発、レゴランドなど全国ニュースでも取り上げられる名所が次々に誕生しており、私自身一度は足を運ばなければと思っています。

未来の観光名所の中でも一番の話題は名古屋城天守閣の再建ですね。名古屋城は徳川家が江戸に幕府を開いた後、まだまだあなどれない力を持っていた大阪方面へにらみを利かせる為に築城されました。また石垣工事には豊臣恩顧の西国の大名の力を削ぐ為、多くの外様大名に普請が命じられたそうです。その為、名古屋城天守閣の延床面積は江戸城や大阪城をも上回る史上最大の天守閣といわれています。これを全て木造建築で復元するとなると話を聞いてるだけでわくわくしてきますね。

難しい問題もあり反対派もいるそうですが、名古屋で唯一無二のシンボルですから名古屋に観るものが名古屋城しかなくてもその名古屋城が他の城を圧倒する荘厳なものになることを切に願っています。

今回は、服部産業(株) 桃井成人氏をお願いします。

『諦めない』

先日、久しぶりにテレビのカンプリア宮殿で、山中伸弥教授の生い立ち、外科医としての限界と、一人でも多く病気の人を治したいという志から、基礎医学に転進、iPS細胞作成成功までの経過、実用化に向けての現状の紹介が放送されていました。

彼が語った言葉の中で「種々の困難、限界を経験し、鬱に近い状態になった時、医者になろうとした原点に立ち返り、自分を奮い立たせて立ち直った」には共感とともに、感心させられた。他人がほとんど手がけていない一般細胞に特定の遺伝子を組み込んで、細胞の初期化、幹細胞の作成に成功していく過程は、スリリングでもあった。人、資金、装置など、決して恵まれない環境のなかで、失敗の連続でもモチベーションを落とさず、ついに再現性の有る結果を作り出すことに成功した。

ノーベル賞受賞後も、驕ることなく、成果を独り占めせず、資金集め、協力してくれる研究者、会社との共同研究、開発に全力投球している。話す姿を見、言葉を聴いても、謙虚な人柄がにじみ出ており、世界で、日本で、おかしなことが言われ、行われている中で、研究者としても、一人の人間としても、久しぶりに心から尊敬できる人に出会えたことに感謝と感動をいただいたひと時でした。

自分をかえりみると、縁あって、今の会社を経営することになってから、20年経ちましたが、その間何度も、もうだめかもしれないということがありましたが、なにくそという諦めない心と、「何故、しからば」を座右の銘として、必死で頑張ってきたおかげで、今でも、曲りなりに、商売をさせてもらっています。皆さん、諦めない心で、個々の課題に対して、何故という疑問と、こうしたらという考えで実行検証を繰り返して行けば、いつか結果が出ると信じて頑張っていきましょう。

さわやかとーく

ゲスト：清水 俊晴 名古屋木材青壮年會會長

聞き手：川村 寿男 広報委員長 (名古屋)

「さわやかとーく」のお客さまとして名古屋木材青壮年會 (NMS) 平成29年度會長の清水俊晴氏をお招きしました。社会の様々な分野で格差拡大が進む中、木材業界も厳しい選別淘汰の波が押し寄せています。しかし青壮年會の皆さんは次の時代の業界を担う存在として、その行動力が期待されています。再来年の平成31年度に名古屋で開催される全国大会に向けた準備も、いよいよ本格的に進める段階に入っています。會のリーダーシップをとる清水會長に、お話をうかがいました。

(聞き手は川村 寿男広報委員長)

—清水會長は不動産管理・仲介業というお仕事ですね。もちろん名古屋の木材業界との縁は深いのですが、これまでと違った立場での會長として、どう會の運営を進めようとお考えですか。

清水 確かに、これまでとは異色かも知れませんね。私は大学を出てすぐに生活用品の企画、製造販売のアイリスオーヤマ、トヨタグループの車体メーカーなどで営業職を務めた後、宅建士の資格を取得したことをきっかけに当時、父が始めていた清水陽介商店に入社しました。今年で6年目になります。青壮年會は父の薦めで、入社後すぐに入会させていただきました。4年前からは日本木青連に出向して、全国の仲間とも交流しています。活動を進めていく中で、住宅の建築や設計の仕事をしている仲間も多く、私の仕事と共通する部分もあってプラスになることも多々ありました。また、逆に私の他業界での経験など、違った立場から、木材業界の皆さんと少し違う見方や考え方が提案できればいいとも思っています。

4月に就任した時の會長方針は、「一步前へ」を標語としました。平成31年度に全国大会も控えて大変なこともあるでしょうが、逆に21年に1回という大きなチャンスであると捉え、モチベーションを高めて取り組んでいきたいと思っています。

—他業界での経験から、この業界と接して感じることはありますか。

清水 業界が違くと、やり方も異なる面がありますから一概には言えませんが、私が幼い頃、祖父がやっていた製材の時代からあまり変わっていないなと感じることはありますね。一方では中国木材さんのように超大型化する工場、企業もありますが、全体としてはアナログ的な部分が多く残っている業界であると感じます。私にはこの業界でのノウハウがないので、ぼんやりとしたことしか言えませんが、業界の川上から川下の間で、仲間と協力しあいながら、もう少しスマートなやり方がないものか。何か、もったいないなど思うことがあります。

私は父の後継者となったわけですが、業界では後継者がいないなどの理由から、不動産を利用した収

入の道を選ぶケースが目立ちます。後継者が少ないということは、先が明るくはないということかもしれませんが、その一方でここ5~6年は東京オリンピック施設木質化や木造施設の増加など、木材への追い風は年々強くなっているように思います。その中で、業界はまだこの風に乗れ切れていないような感じがします。

—確かに国産材の需要も増え、木材業界も新たな段階に入ってますね。

清水 今年度の日本木青連會長スローガンは、「ウッド・レガシー」を掲げ、新たな木材利用の用途拡大のために、都市のまちづくりに伝統的な木の文化を提案し、積極的に木造化、木質化を推進し、都市景観の木質化による新たな木材需要の拡大を目指して活動しています。都市部での木材需要の本格的に高まりにより、全国各地からの集材の必要性が生まれ『生産地における地方創生への寄与、山元への利益還元、流通機能の活発化』という木材業界の好循環を実現し、未来に向かっての「レガシー」として次の世代以降にも受け継いでいかれることを目指しています。

NMSの會員数は現在34名ですが、平成30年度には名古屋から鈴木興太郎さんが全國會長に就任される予定で、翌年の全國大会ともに準備を進めています。私も含めて日本木青連執行部への出向者も増え、青壮年會メンバーのやるべきことは今後増えると思います。そのためにも青壮年會メンバーの會員数をもっと増やすために、「木材」というキーワードで繋がる業種、職種にも會員裾野を広げ、賛助會員なども含めて會勢拡大を図ることが大切だと感じています。

何事にも「失敗を恐れず」を信条に、會長を務めていきたいと思っています。

—ありがとうございました。

清水 俊晴氏 (しみず・としはる)

昭和48年11月生まれ。43歳。関西大学商学部卒業。現在は父君経営の清水陽介商店に勤務。家庭では大学1年の長男、高2の長女、中2の次男と3人の父親。PTA會長をしていた時の父親の集まりが縁で、地域ソフトボールチームの監督も務めるなど、キャンプやスポーツが大好きという。



お知らせ

☆☆☆ 平成29年度 春季（道路美化）一斉清掃について ☆☆☆

春季一斉清掃を実施します。臨港地区の環境美化にご協力ください。

1. 日時

- ・ 弥富地区 平成29年 5月23日（火） 9：00～12：00（雨天決行）
- ・ 飛島地区 平成29年 5月31日（水） 9：00～12：00（雨天決行）

2. ゴミの分別・回収方法 今回は側溝の土砂回収はありません。

- ・ 弥富地区は、収集したゴミは午前10時までに弥富市ゴミ集積場所、正午までに楠広場の臨時集積所に出して下さい。
- ・ 飛島地区は、収集したゴミは午前10時までに飛島村ゴミ集積場所、正午までに飛島村東浜中央緑地駐車場（東側）の臨時集積所に出して下さい。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

事務所等を狙った侵入盗被害が多発！！

本年に入り、蟹江警察署管内において、深夜に会社事務所や閉店後の店舗を狙った侵入盗被害が多発しています！

【防犯上の注意点】

- ・ 防犯カメラ、センサーライトの設置等、目に見える防犯対策をしましょう！
- ・ 無人でも室内灯を点灯させる等して、犯人に留守を悟られないようにしましょう！

◆ 広告コーナー

私たちのプレカットテクノロジーは、
人と住宅の未来のために
磨かれています。

Precut & Technology
MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL.(0532)31-1251(代) FAX.(0532)34-1956

東京営業所(本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません)

〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6

TEL.(03)3647-2140(代) FAX.(03)3647-2184

●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで



「プレカット」と「木工機械」の
平安コーポレーション

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

発行 名古屋木材組合

発行者 西垣洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 嶺木昌行

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会